

泌尿器・副腎・腎移植外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 内藤 宏仁 香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 病院助教

[研究課題名] KEYNOTE-564 試験再発カテゴリー別の限局性腎細胞癌再発率・予後の後ろ向き検討

[研究の目的]

限局性腎細胞癌の術後再発予防においてペンプロリズマブの有用性がKEYNOTE-564試験で示されました。その試験の中で再発カテゴリーが設定されております。KEYNOTE-564試験再発カテゴリーは他の試験では使用されておらず、新たな予後因子となるのか検討する価値があります。実臨床における再発のrisk因子を明らかにすることは今後の腎癌治療に有益と思われれます。本研究では当院で加療した腎癌患者様の治療成績をKEYNOTE564試験再発カテゴリー別に後ろ向きに検討します。

対象となる患者さん

2001年1月1日から2022年9月30日の間に当院で治療を受けた腎癌の患者さん

利用する検体・診療情報

KEYNOTE-564試験再発カテゴリー、腫瘍サイズ(長径・体積)・

脂肪量(内臓脂肪・皮下脂肪・腎周囲脂肪)・筋肉量(大腰筋面積)、腎部分切除術の難易度を評価するためのRENAL Nephrometry Score、性別、年齢、PS(Performance Status)、体重、身長、BMI、体表面積、臨床病期(cTNM)、血液データ(CRP、白血球、白血球分類、血小板、Hb、LDH、中性脂肪、コレステロール値(HDL・LDL)、血糖値、HbA1c、Na、Ca、K、Cr、eGFR、再発時の転移性腎細胞におけるリスク分類(International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium (IMDC)リスク分類、Memorial Sloan-Kettering Cancer Center (MSKCC)リスク分類)、病理組織学的情報(組織型、病理学的病期(pTNM)、悪性度、腫瘍サイズ)、治療法、生存期間、無病勢増悪期間を抽出する。

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 担当医師 内藤 宏仁

電話 087-891-2202 FAX 087-891-2203